

JA 全農 ET センターニュース平成 20 年 7 月号

日頃、本会の受精卵を御利用いただきありがとうございます。

さて、わが国の畜産・酪農状況の悪化から本年 4 月に緊急価格改定により、1 受精卵あたり平均 4500 円の値下げを行いました。状況改善の見通しがまだ見えないので 7 月以降も値下げ状態を基本的には継続した価格で提示させていただきます。通常は 7 月と 1 月が価格改定の時期ですが、今回は受精卵製造に使用する凍結精液で入手困難な安福勝のみを 3000 円値上げさせていただきます。何卒、御了解の程よろしくお願い申し上げます。

また、新しいメニューとして、リピーター用（ブリーダー用）の黒毛和種体内受精卵を 2 万円以下の価格で提示（本年 8 月から供給開始予定）させていただきます。使用する凍結精液はアニマルジェネティクス社所有の 2 頭の新規種雄牛（鈴幸および鈴金）から生産されたものです。血統は 2 頭とも全兄弟であり、母が BCS ならびに DG とともに高育種価の雌牛（父：福桜、母の祖父：安平、母の祖祖父：糸秀）で父親は金幸と確認しております。

さらに、乳牛 X 精子を利用したホルスタイン種 X 受精卵のリスト提示も新たに開始（本年 9 月-10 月より供給開始予定）させていただきます。母の乳量が概ね年間 1 万 Kg 前後、母の体型得点が 85 点前後の未経産牛を供卵牛としております。本受精卵を利用した産子の性の確立は雌が 90%前後と期待されます。雄が生産されても事故補償はできませんので御了解ください。たくさんの数量は提示できませんが、現場からの要望になるべく答えられるように生産拡大に努力していく所存ですので、何卒これからもよろしくお願い申し上げます。